

重点課題

- 【課題1】 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる。(設問2(4)) 読むこと (正答率 30.9%) 資料で説明されている国際宇宙ステーションでの使われ方は満たしているが、資料で説明されているファスナーのよさは満たされていない児童43.6%
- 【課題2】 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。(設問2(3)) 読むこと (正答率 39.4%) 条件a ヒントとなったことは満たしているが、条件bの両ファスナーのくつつく仕組みは満たしていない児童39.4%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

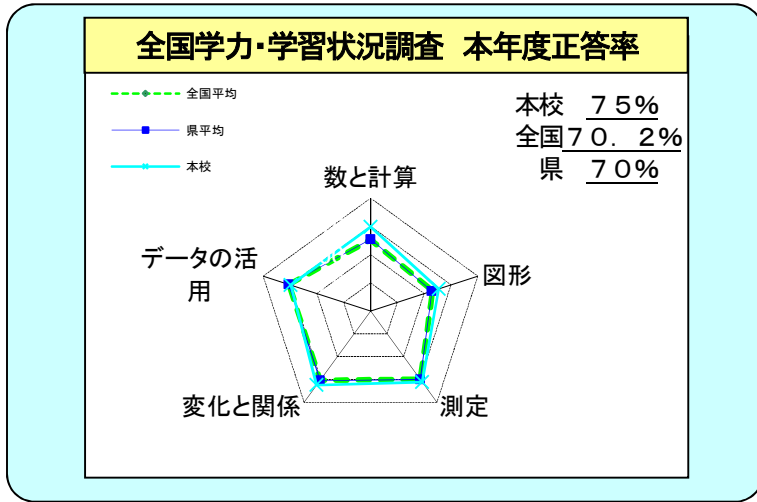
- 【課題1】 国語科の授業において、大事な言葉やキーワードを用いて要約することを指導する。問われていることに対して必要なことだけを答えるよう指導する。条件を与え、その条件に合うようにまとめる活動を様々な場面で行う。
- 【課題2】 複数の資料や文章以外の資料から必要な情報を読み取る活動を取り入れる。国語科だけでなく、さまざまな教科において、図や表から分かることを言葉で説明することを授業で行う。自分の言葉で説明する場を設ける。

※ 小中一貫した取組については、説明文の読み取りにおいて、大切な言葉やキーワードを用いて要約する学習や事実と意見を整理し自分の考えの根拠を明確にする学習を行う。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				各学年 標準学力調査「標準学力調査」	6年 全国学力 2(4)	5年 全国学力 2(4)	
目標値				全国平均より 全国平均+5ポイント	70%	60%	
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				各学年 標準学力調査「標準学力調査」	6年 全国学力 2(3)	5年 全国学力 2(4)	
目標値				全国平均より 全国平均+5ポイント	70%	60%	
実施後数値							

来年度に向けて



重点課題

【課題1】 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述する問題。(設問3(4)) データの活用 (正答率 47.9% 無回答率 5.3%) 「図書室に行く時間がない」を表す言葉や記号を書いている児童が19.1%

【課題2】 複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる。(設問2(2)) 正答率64.9% 無回答率1.1% 「①と②の面積は比べられない。」と回答している児童が17%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 帯グラフの数値の読み取りを繰り返し、習熟させる。また、複数のデータを比較し、全体と部分、部分と部分の関係性を捉えさせる学習を行う。

【課題2】 低学年から具体物を操作する活動を多く取り入れる。学年が上がるにつれて、図形を組み合わせた切り離したりして面積の保存性や加法性への理解を深めて学習を行う。

※ 小中一貫した取組については、グラフのデータを読み取り、分かったことを説明する学習を行う。また、考えを説明する場面では、適切な算数用語を用い、簡潔に表現させるようにする。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			5年 割合 単元テスト	各学年 標準学力調査 「標準学力調査」	6年 全国学力 3(4)	5年 割合のグラフ 単元テスト	
目標値			80%	全国平均より 全国平均+5ポイント	70%	80%	
実施後数値							

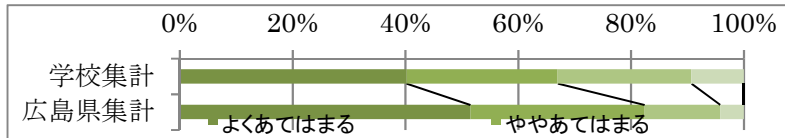
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			4・5年 面積 単元テスト	6年 全国学力 2(2)	5年 全国学力 2(2)	4・5年 面積 単元テスト	
目標値			80%	80%	60%	80%	
実施後数値							

来年度に向けて

質問紙調査（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）（児童生徒学習意識等調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習

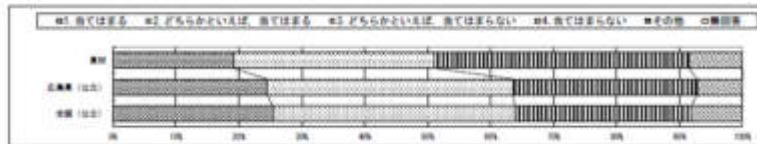
「将来、仕事や生活の中で役に立つと思うから勉強しています。」



	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「将来、仕事や生活の中で役に立つと思うから勉強しています。」 肯定的回答67.0% 県平均82.5%を15.5%下回った。	すべての教科の授業の振り返りの場面では、今学習したことが生活のどんな場面で生かされるか、将来仕事をするときにどんなことに役に立つか等、具体的に考えさせるようにする。 また、授業以外の場面でも、将来の姿と結び付けた指導を行う。	5年	75%	児童アンケートによる検証	2月	

(2) 教科

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
国語	全国・学習意識等 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。」 肯定的回答 51.0% 全国平均 63.8%を12.8%下回った。	国語の授業だけでなく、総合的な学習の時間の授業等においても、一人一人が自分の意見を書いてまとめたものをもとに、発表する場を仕組む。その際、友達の意見を聞いて、疑問に思ったことは必ず質問させるようにする。	6年	70%	児童アンケートによる検証	2月	
算数	全国・学習意識等 「算数の勉強は好きですか。」 肯定的回答 59.6% 全国平均 67.8%を8.2%下回った。	必然性のある導入と個のつまづきに対する手立てを工夫し、「分かった」「できた」と実感できる授業を積み重ねる。	6年	70%	児童アンケートによる検証	2月	

算数の勉強は好きですか。

